



GROWTH<sup>TOKYO</sup>

2025 年 12 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社環境フレンドリーホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 車 陸昭  
(コード：3777、東証グロース)  
問合せ先 管理部長 中村 尚美  
(TEL. 03-6261-0081)

**(開示事項の経過) ペロブスカイト事業に係るショールーム兼販売拠点の進捗に関するお知らせ**

2025 年 1 月 20 日付「新たな事業の開始に関するお知らせ」にて開示いたしました、ペロブスカイト事業に係るショールーム兼販売拠点および国内生産工場の新設に関し、その後の経過について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. ショールーム兼販売拠点について

ショールーム兼販売拠点につきましては、当初予定していた時期から見直しを行っておりましたが、この度使用する物件が決定し、2026 年 3 月の開設を見込んでおります。

所 在 地 ： 東京都港区（詳細住所は開設時に公表予定）

主 な 機 能 ： 製品および技術の展示、商談、情報発信等

当該ショールームでは、各種パネルの展示に加え、当社が製品化したペロブスカイト技術を応用した小型デバイス（携帯シーシャ）や今後販売を予定している製品等についても展示を行い、実際に体験・体感できる空間とすることを予定しております。現時点では国内生産工場の稼働時期が未確定であることから、当該ショールームにおいては製品展示および体験提供を主な目的とし、将来的な販売開始にむけた準備および検討を進める場として活用し、本格的な販売活動については、国内生産工場の稼働後に開始することを想定しております。

また、2025 年 1 月 20 日付「第三者割当による新株式及び第 22 回新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示いたしましたショールーム新設等に係る支出見込みにつきましては、現時点において変更はありません。

## 2. 国内生産工場の新設について

国内生産工場の新設につきましては、現在、物件および土地の候補地の選定を進めておりますが、現時点において具体的な開設時期を見通せる段階には至っておりません。そのため、当初想定していた予定からは後ろ倒しとなる見込みです。

また、2025 年 10 月 29 日付「GX 推進および地域産業の高度化に向けた茨城県境町との包括的連携に関する覚書（MOU）締結のお知らせ」にて開示いたしました茨城県境町との包括的連携に関する覚書（MOU）に基づき、境町内における 10MW 規模のペロブスカイト太陽電池製造工場の建設、ならびに将来的な 100MW 規模への拡張に向けた検討は、現在も継続しております。現時点では具体的な確定には至っておりませんが、開設時期や規模等について具体的な決定がなされた場合には、速やかにお知らせいたします。

## 3. 今後の見通し

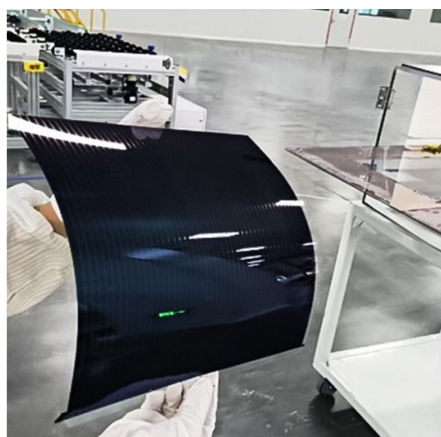
当社は、ショールームを活用した営業活動および実証事例の創出を進めるとともに、国内生産工場の新設につきましても、引き続き検討を進めてまいります。

なお、本件は主として展示・営業拠点に関するものであり、現時点において 2025 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後開示が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

以 上

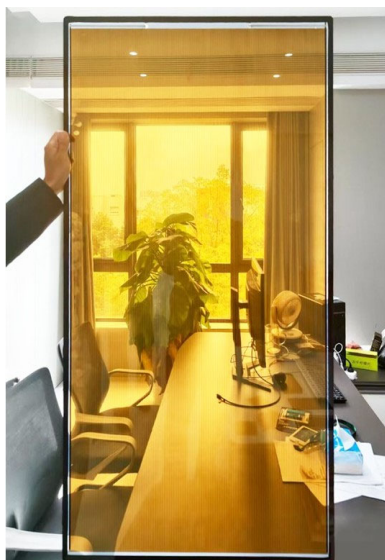
（参考展示品のイメージ）

### 【軽量・フレキシブル型ペロブスカイト太陽電池パネル】



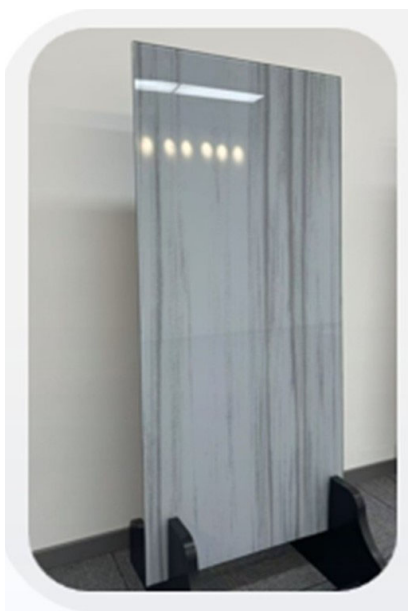
軽量かつ柔軟性を有する特長により、従来の太陽電池では実現が難しかった設置場所への対応が可能となり、建材、モビリティ分野などの多様な用途への応用を想定した展示を予定しております。

【BIPV 透光型ペロブスカイトパネル】



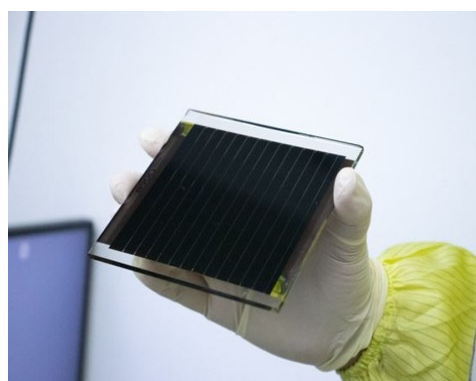
発電機能と透光性を併せ持ち、  
光の入り方や見え方を実際に体  
感できる展示を行う予定です。

【BIPV 耐石材型ペロブスカイトパネル】



石材の外壁のような見た目や  
質感を実際に体感できる展示  
を行う予定です。

【小型ペロブスカイト太陽電池セル】



小型で手に取りやすいセルを用いた展示により、技術特性や構  
造を直感的に理解できる空間を想定しております。

※掲載している画像は、ショールームにおける展示内容の一例（参考）であり、実際の展示内容とは異なる場合があります。